



広島国際学院高等学校 同窓会報

第16号 2015年2月28日発行
発行者 広島国際学院高等学校同窓会
(旧広島電機大学附属高等学校同窓会)
広島県安芸郡海田町蟹原2-8-1 TEL 082-823-3401
http://www.hi.hkg.ac.jp/index.html
印刷 株式会社 広島毎日広告社

節目の年を迎えて
活躍する後輩に
思いを馳せし



同窓会会長
竹内 正彦
(S34卒)

同窓生の皆様、お元気でいらつしゃいますか。

今年と同窓会にとって大きな節目の年で、「同窓会60周年」になります。私たち人間に喩えると「還暦」です。その節目を迎えるにあたり、6月27日、ホテルグランヴィア広島において、盛大に記念式典・懇親会などを執り行う予定です。役員はもちろん、各方面からご支援ご協力をいただきながら、現在は準備を進めております。

同窓生の皆様、懐かしい恩師や仲間と再会する絶好の機会です。是非ともご参加くださいますようお願いいたします。



同窓会奨学金給付書授与式

10月10日、母校校長室において、「同窓会奨学金給付書授与式」が執り行われました。同窓会会長 竹内正彦から「生徒皆さんの模範になるような奨学生として頑張ってください」と激励の言葉を贈るとともに、3名の受給者へ「給付書」を手渡しました。
3名の皆さんには、一日一日を大切にしながら勉学に励み、母校の模範生となることを期待しています。おめでとつございました。

さて、昨年は同窓会にとつて素晴らしい出来事がありました。多くの方が既に「存知かと思いますが、母校の陸上競技部が「全国高校駅伝大会」に出場いたしました。その決定のとき、私は手を叩いて喜んだことを今でも鮮明に覚えています。そして、陸上競技部の皆さんが、O.B.O.Gの思いを背負って都大路で疾走する姿を垣間見たとき、かつて「駅伝の電機」と呼ばれていた時代を彷彿させてくれました。

陸上競技部の皆さん、感動をありがとうございます。皆さんにとって夢はまだまだ途中段階だと思えます。今後の活躍を、同窓会全体で応援していますので頑張ってください。

また、陸上競技部O.Bの皆様から寄付金をいただきました。さらに、同窓会役員や幹事の皆様からも寄付金をいただきました。社会情勢の厳しき折にもかかわらず、お一人お一人の母校に対する思いに感激いたしました。この場をお借りしまして、厚く御

礼申し上げます。

最後になりますが、同窓生の皆様、卒業生の皆さん、同窓会はとても素晴らしい組織です。一人でも多くの方に、60周年記念大会でお会いできることを楽しみにしておりますので、その日までお元氣にお過ごしください。ありがとうございます。



山岳部O.B会会長
京才昭氏 (S37卒)
旭日双光章受章

政府から平成26年春の叙勲褒章が発表され、本校同窓生の京才昭氏が、スポーツ振興功労(山岳)において、「旭日双光章」を受章されました。京才氏は以前にも藍綬褒章を受章されるなど、国からも活躍を認められている素晴らしい同窓生です。受章、誠にめでとつございました。



同窓会事務局長
小笠原文六
(H11卒)

同窓会 新任役員紹介

この度、事務局長を務めさ

同窓会60周年
記念行事開催に
あたつて
同窓会副会長
村上 範美
(S36卒)

同窓生の皆様、いつも同窓会へのご支援ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

学校法人広島国際学院が創立88年を迎えるとともに、広島国際学院高等学校同窓会も、1955年の創立から数えて、今年2015(平成27)年で60年を迎えます。

このように歴史ある学園の同窓生が増えるにあつて、同窓会組織も少しずつ

せていただきます。小笠原文六と申します。

未熟という言葉がふさわしく、事務局の運営に際してご迷惑をおかけすることが多々あるかと存じます。皆様のお力をお借りしながら、精一杯努めさせていただきます。と思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



同窓会書記
柿田清次朗
(H15卒)

この度、書記に就任いたしました。柿田清次朗と申します。微力ではありますが、高校と同窓会のさらなる充実・発展のため精一杯努めますので、ご協力ご支援をよろしく申し上げます。

ではあります。発展充実してまいりました。また、同窓生の皆様の母校に対する思いと同窓生間の交流を深め、より親睦していただけるよう



に微力ながら担つてまいりました。改めて、同窓会にお力添えいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

平成26年度
同窓会総会
懇親会
同窓会副会長
中 雅洋
(S42卒)



平成26年6月28日(土)「広島ガーデンパレス」に於いて開催されました。始めに、午後6時から総会が開催され、活動報告・決算報告・新役員紹介・売店決算等の議案が、全会一致で可決されました。

現在は、同窓会創立60年を迎えるにあたり実行委員会を立ち上げ、皆さまをお迎えする準備を整えている段階です。懇親会では、アトラクションといたしまして、卒業生による雅正会演奏と歌手の加納ひろしさんをお迎えして、盛大に執り行う予定です。まだまだ皆様に楽しんでいただけるよう、実行委員会で鋭意計画を進めております。

同窓生の皆様、恩師との再会や懐かしい友との再会が、当日待ち受けております。どうぞ、多くの皆様のご参加とご協力をよろしくお願いたします。

引き続き懇親会を開催し、竹内正彦会長挨拶・来賓の挨拶・森崎恒夫教頭先生より乾杯のご発声により開宴しました。

懇親会では懐かしい仲間との交流やO.Bの細井済さんからマジックショー等が披露されるなど、楽しく有意義な時間となりました。

最後に、奥田幸一幹事長から来年度の同窓会創立60周年記念行事の紹介と協力要請があり、盛会の中での閉会となりました。



同窓会の皆さまへ



校長 太田 茂

同窓会創立60周年を前に

同窓会会員の皆さま、今年は今同窓会創立60周年という大きな節目の年、人に諭えますと還暦を迎えることとなります。誠にめでたく、心よりお祝いを申し上げます。また、本高校への日頃からのご支援、ご協力に感謝致しております。

さて、平成11年の校名変更に伴い、同窓会の名称も広島国際学院高等学校同窓会と改称されました。「広島電機」時代の方々には、一種の喪失感や寂寥たる思いをされたのではないかと拝察申し上げます。それにもかかわらず、爾来、変わることなく母校を愛し、ご支援くださり、有り難いことと存じております。

本高校は、建学の精神、「教育は愛なり」を掲げて間もなく88年目を迎えます。目指す学校は明るく学びのある学校、感動のある学校です。ここに掲げた学校の姿は、同時に、あるべき生徒の姿です。地域の皆さまから愛され、ご支持をいただける学校でありたいと、教職員一同、さらに力を合わせて邁進して参ります。同窓会の皆さまが築かれた文化を継承しながら、激しく変動する社会に的確に対応すべ

く、これからも学校改革を絶えず進めて参る所存です。最後にになりましたが、新たに平成26年度卒業生が貴同窓会に入会させていただきます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

49年ぶり 全国高等学校 駅伝競走大会出場

陸上競技部

毎年12月に京都で行われる、全国高等学校駅伝競走大会が第65回を迎え5年に一度の記念大会として、各地区からブロック代表枠が設けられました。その為、全国出場を合言葉に春先から全国出場を目標に練習を積み重ねてきました。トラックシーズンから思うような結果が出ず焦りを感じており、チーム自体も何か噛み合わないまま迎えた駅伝シーズンでした。不安は的中し、広島県高校駅伝で4位という結果に、自分自身の指導力のなさを痛感しました。しかし、この結果が功を奏したのか、選手自身に危機感が生まれたように思います。どこか吹っ切れた感じで中国高校駅伝を迎えました。序盤からレースを優位に運ぶことができ、各県代表を除く最上位校となり、見事中国地区代表校として、49年ぶりの全国高校駅伝の切符を勝ち取る事が出来ました。記録も2時間8分44秒と県駅伝の記録を5分近く上回る記録で、予想を覆す結果となりました。会心のレースだったと思います。これまで、支えてくださった

多くの方々に対し少しでも恩返しが出来たのではないかと幸いです。

念願だった全国高等学校駅伝競走大会を迎えました。49年振りの出場ですが初出場と同じです。緊張と不安があったのか、決してチームは万全の状態とは言えないまま大会に臨みました。結果は、2時間12分37秒の51位で悔しさの残る大会となりました。

来年は全国大会が京都で行われるようになってから50回目の節目となり、今大会同様にブロック代表枠が設けられ、今一度チャンスが巡ってきます。全国大会に出場した経験を糧に更なる飛躍をしていき、京都での悔しさは京都で返したいと思っております。今後ともご声援の程、よろしくお願いいたします。



世界大会出場紹介

第13回世界ユース ボウリング選手権大会2014 女子4人チーム戦・女子マスターズ戦 金メダル

ボウリング 石本 美来

平成26年8月4日から16日まで中国香港で行われた世界ユースボウリング選手権に日本代表として参加しました。43ヶ国の国と地域が参加した中で4人チーム戦にて、チーム二丸となって1ピン差逆転金メダル、更に33ゲーム全ての個人総合部門で金メダルを獲得しました。他国の選手達の中で緊張しましたが、自分のボウリングをすることだけを考えて臨みました。



第7回WTF インターナショナルカップ バントフライング日本代表4位入賞

バトン 豊嶋 彩夏

私は、一昨年の高校1年生の夏、オランダで行われた第7回WTFインターナショナルカップに出場しました。この大会では全国大会で上位入賞した人が出場できる大会です。私は今回初めてこの大会に出場する事ができました。世界大会なのでもちろん有名な選手ばかりで、私は自分がこの場にいる事が場違いな気がしてなりません。全国にお話が出来た友達も少

なく、オランダにいる間やつていけない不安もありませんでした。しかし、少しずつ友達も増えて行き、今では全国に友達がたくさんいます。

世界大会での結果は4位でした。この結果を頂けた事で、学校での文化祭や他校での行事に呼んで頂き、バトンの演技をさせて頂く事も出来ました。

バトンを通じてたくさんの人と関わる事が出来、また演技を見て頂く事でバトンというものを知って頂く事が出来ました。この大会は私のバトン人生の中でとても大きなものを得る事が出来ました。



頑張っている仲間紹介

ダンス

2014年 広島フライングフェスティバル YOSAKOIステージ(5月) チーム名・舞姫

作品名・JAPANと侍&撫子

22名が集まり、1月より練習を開始しました。「平和」と「花」を意識した作品を創るため、チーム名「舞姫」、タイトル「JAPANと侍&撫子」とし、男性と女性を表現した2曲と、日本を表現した1曲とを合わせた演目を発表しました。ステージに必要なものを自分たちで創っていくことで、団結心と自信を胸に本番に臨み、本番では沢山の暖かい拍手に包まれた、心に残るステージを経験することができました。

私学助成をすすめる

県民の集い(10月)

チーム名・広島国際学院高等学校

ダンスチーム

演目・1、大奥 2、戦

3、城下町 4、ハピネス

私学の日頃の活動を発表する場に、広島国際学院高等学校の代表として参加することができました。文化祭のために7月から練習してきた演目の中から、4曲を発表しました。初心者の方には初めての舞台であり、緊張の中、成果と課題と両方を得ることができました。

文化祭(11月)

作品名・平和と人はいいつも

踊りと共に

演目・1、侍JAPAN 2、大奥 3、戦

4、城下町 5、撫子JAPAN

6、ハピネス

26名の生徒が集まり、7月より練習を開始しました。今年、「平和」と人はいいつも踊りと共に」というタイトルのもと、6曲を発表しました。テーマ決め、曲選び、振り付け、衣装作りなど、本番に必要なものは全て2年生を中心に生徒自身が見てくれている方々が、また、チームに期待して下さる方々が応援に来てくださり、今年の舞台も満員のお客様のもと、自信を込めた作品を発表することができました。応援して下さいました。応援して下さいました。応援して下さいました。感謝いたします。



クラブ紹介

サッカー部

今年度は新人戦、高校総体、全国高校選手権といずれの大会も好成績を残すことができませんでした。しかし、広島県内全県で行われている高円宮杯U-18サッカーリーグ2014HIFAアドバンスリーグ4部リーグにおいてはBチームながら前期、後期ともに優勝することができました。来年度の3部リーグ昇格が決まっております。

一方Aチームが参加する1部リーグにおいては2位という好成績を残すことができ、高円宮杯U-18サッカーリーグ2015プリンスリーグ中国参入戦に出場しました。結果は岡山県代表の玉野光南高校と対戦しましたが0-2で敗れ、来年度の参入はなりませんでした。来年度も1部リーグでの出場となりました。

1月現在、新チームを立ち上げて5ヶ月程度が過ぎましたが来年度に向けて高い目標を掲げトレーニングに励んでおります。今後とも声援よろしくお願いたします。



柔道部

平成26年度の柔道部は男子13名、女子5名で活動してきました。4月に行われた中国大会の県予選は男子団体ベスト16で敗退、女子団体は第5位で出場することができませんでした。6月に行われたインターハイ県予選では男子団体ベスト16で敗退、女子団体は第5位。この結果中国大会同様県大会で上位に進出することができず、悔しい結果となりました。

その後2年生主体の新チームが活動して迎えた11月の県新人では、男子団体第3位、女子団体第4位で中国新人大会にアベック出場することができました。現在は全国大会出場を目指し頑張っています。



水泳部

今年度の水泳部は、3年生3名、2年生4名、1年生10名の計17名で活動しました。そのうち2年生女子と1年生男子各1名ずつが夏の中国選手権大会に出場し、全方で泳ぎ切りました。また、秋の中国新人大会では2年生女子と1年生男子が各1名ずつ出場し、女子400m個人メドレーで第7位に入賞しました。

安芸区民スポーツセンター内のプールでのスイム練習や学校での陸上トレーニングなど、日々の体作りに励んでいます。来年度の試合で自己ベストを更新できるよう、今後とも精一杯頑張ります。



書道部

今年度で創部10年目を迎えています。活動日は火木の週2回。文化祭への出品はもちろんのこと、全国の書道展出品のため日々練習に励み、腕を磨いています。

毎年文化祭では、3年生が卒業制作として大きな作品を制作し、中庭にかけられています。「先輩たちよりも、よりよい作品を...」自分たちの力を出していこうという言葉を合言葉に、素材の選定、草稿作成から完成まですべて自分たちの手で進めています。

また、近隣の高校5校が集まり、町内のイベントで合同パフォーマンスを披露しています。本校の文化祭でも作品展示に加え、書道パフォーマンスに挑戦しました。「輝翔」と題し、自分たちで文章を考え、構成も決め、夏休みから準備をしてきました。

慣れないこともあり、フライングの連続でしたが、「筆入魂」で書いた作品が立ち上がり、笑顔がこぼれ、本番が終わった時には何とも言えない充足感でいっぱいになりました。



支部だより

職域・同期・支部総会が開催されました。

浦支部 (S43年 機械科卒)
広島国際学院高等学校同窓会創立60周年おめでとうございます。

竹内会長を始め同窓会に関わる役員また諸先輩の皆様のご尽力に依るものと思っております。支部では光原先生を始め先輩・仲間後輩に支えられて親睦を深めています。

この事が、本部同窓会を盛り上げていく事と信じています。

最後に母校の発展と同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。



陸上部OB会 (S34年 電気科卒) 全国高校駅伝大会出場おめでとう

会長 鳴石 隆信

第12回目の陸上競技部OB会には、ご多忙の中ご出席いただき大変ありがたうございました。

黒田監督の話により「駅伝の広島電機」といわれたあの当時の再来が目前に来ているのことに、われわれも、全国大会出場権を獲得されたあの瞬間の感動を49年ぶり(8度目)に再度味わう事が出来ました。

なお、皆様にはご寄付を頂き誠にありがとうございました。

今後ともOB会の発展に、さらなる努力をしていきたいと思います。



海田支部 (S36年 機械科卒)

海田支部の発足は、他地域で盛会に支部運営されている中で、母校がある地域に現在までなかったことにより、海田支部の発足までは、村上純美同窓会副会長の「尽力を仰ぎながら、会員増強に努めてまいりました。その甲斐あって、毎年2月に役員会(予算案の作成、定期総会の日程決め)が行えるまでになりました。

各方面でお世話になりました同窓会役員の皆様、同窓生の皆様ありがとうございました。そして、海田支部名誉会長に西本五郎先生をお迎えすることもできました。誠に恐入ります。

旧電機高等学校と呼ばれた卒業生が大半のため、「駅伝の電機」と呼ばれた黄金時代(3年間全国大会上位入賞を知っている同窓生が多くいます。そのため、陸上競技部49年ぶりの全国大会出場に感激いたしました。次の大会出場と国際学院の名を轟かせてくれることを、心より祈念しております。

最後になりますが、今年と同窓会創立60周年という節目の年。母校と同じく、同窓会がますます発展いたしますことを心よりお祈り申し上げます。

また、60周年行事では、海田支部も微力ながら盛会のために頑張っておりますので、引き続き宜しくお願いいたします。



電消会 (S53年 自動車整備科卒)

平成26年3月14日(金)にメルパルク広島で開催しました。

電消会は広島市消防局に勤務する広島国際学院高等学校旧電機大学付属高等学校卒業生を含む及び広島国際学院大学旧広島電機大学卒業生を含むの卒業生の集まりです。

電消会現在の会員数は34名で、毎年定年退職者があり、年々会員が少なくなっています。

今回は37年広島市消防局に勤務され電消会会長としてお世話になった寺川会員の送別会も兼ねて懇親会を行い、同窓会より竹内会長、村上副会長、奥田幹事長に御参りいただきました。

今後とも、電消会を宜しくお願いたします。

また、60周年記念行事が盛大に行われる事をお祈りいたします。



山岳部OB会 (S37年 機械科卒)

我々山岳部OB会は本校の教師で山岳部の顧問の先生のご協力により守られてきました。特に下田先生の山岳部及びOB会の指導により今日まで継続しております。OBの者も大学や社会人で山岳活動を続けている者やそうでない者もおります。何年かに一度集まって一杯やるのが唯一のコミュニティの場で、時代時代考え方が違うので纏めるのが大変ですが、同じ飯盒の飯を食った者同士会えばバツリ。60周年には今から声を掛けて皆で集います。(社)広島県山岳連盟の会長と理事長は本校卒業生です。



安佐支部 (S44年 機械科卒)

平成26年度の安佐支部定例総会を12月21日に地元「康楽苑」において、竹内同窓会長、村上副会長の出席のもと、開催致しました。会長挨拶の中で「同窓会創立60周年記念」式典に多数の会員の参加、出席を願うとの要請がありました。また、当日は高校駅伝ランナー最大の目標である全国高校駅伝大会に中国地区代表として母校が出場、テレビ、ラジオの中継を見ながら、選手の方走に大声援を送り、会場は大変な盛り上がりでした。和やかな時間を過ごし、会員相互の健康を願いつつ散会となりました。

支部長 竹田 操



熊野支部



矢野支部



坂支部



げんき会 (S43卒)



歴史ある同窓会 60周年を迎えます



頑張っている 卒業生

坂支部幹事長 林 昭治 (S41卒)
坂雅正会長 林 昭治 (S41卒)



広島国際学院高等学校同窓会結成60周年、誠にありがとうございます。私たち坂支部は初代会長林正市長林正市が、明治28年に鹿児島別院建立の際、彫刻師として参加し、時の別院輪番小河原格亮氏に雅楽を学び、安浦郡坂村(現・坂町)に持ち帰り、雅楽演奏活動を始めてから、120年以上続いています。会員は学生・サラリーマン・年金生活者等、20代から70代までの素人の集団で頑張っています。お寺の法要や神社の式典等にも参加しています。平成18年に広島文化賞を受賞し、続く平成19年には、広島地域文化功労賞を受賞しました。そして平成23年に、坂町指定無形文化財第1号に指定していただいております。

だいております。今後ともよろしくお願いいたします。

演出 峻輔 (H22卒)

私は、中区土橋にある「洋食 広亭タナカ」で、コックとして働いています。2012年に酔心調理製菓専門学校を卒業し、働き始めて三年が経ちます。この道、55年になる田中シェフの下で、料理人として腕を磨きながら充実した日々を送っています。また、この職場と尊敬できるシェフに出会って、一日一日を頑張っていると思います。



そして、高校時代に3年間所属したサッカー部では、毎日汗を流して頑張っていました。当然、辛いことや苦しいことが多かったのですが、今では良い思い出であり、その経験が今の自分を形成しているように思います。高校時代の日々を糧に、一人前の料理人として大成できるように邁進していきます。



室木 聡美 (H23卒)

私は、女性としては珍しい「柔道整復師」として働いています。平成26年に国家資格を取得したので、社会人二年目です。

私が勤めている職場は、広島市南区にある「あさひ整骨院」です。治療家として、人として成長できる環境に出会って、日々仕事にやりがいを持って頑張っています。また、この職業には終わりがありません。いつも新しい知識(「治療法」)を習得したり、患者さまが笑顔で帰っていただけたら、うな接客力を身につけたり、たくさん学ばなければいけないことがあります。



「人のために」という思いを忘れずに、これからも成長し続けていきたいと思っております。

同窓生のみなさん、在校生の皆さん、身体に関して何かありましたら、ぜひ「柔道整復師」を頼ってください。

平成27年度総会でお会いしましょう!

60周年記念行事「総会・懇親会」のご案内

◆期日…平成27年6月27日(土) 午後5時より

◆場所…ホテルグランヴィア広島
広島市南区松原町1-5

申込み 広島国際学院高等学校 同窓会事務局 ☎082-823-3401

平成26年度 同窓会活動中間報告

- 4月 8日(火)…入学式参列
- 5月10日(土)…会計監査実施
- 5月31日(日)…役員・幹事・支部長合同会議開催
- 6月28日(土)…定期総会・懇親会
- 7月12日(土)…60周年準備委員会
- 7月12日(土)…矢野支部総会・懇親会
- 7月19日(土)…海田支部総会・懇親会
- 7月26日(土)…安浦支部総会・懇親会
- 8月23日(土)…役員会
- 9月13日(土)…坂支部総会・懇親会
- 9月25日(木)…役員会
- 10月10日(金)…同窓会奨学金授与式
- 10月18日(土)…げんき会(同期会43年卒)
- 10月31日(金)…同窓会60周年準備委員会
- 11月13日(木)…同窓会報編集会議
- 11月15日(土)…熊野支部総会・懇親会
- 11月16日(日)…母校「文化祭」参観
- 11月29日(土)…役員・幹事・支部長合同会議開催
- 12月21日(日)…安佐支部定例会
- 2月13日(金)…役員会
- 2月21日(土)…同窓会60周年準備委員会
- 2月28日(土)…同窓会入会式
- 3月 1日(日)…卒業式参列

平成26年度 同窓会役員

会長	竹内 正彦 (S34年卒)	事務局長	小笠原文六 (H11年卒)
副会長	村上 範美 (S36年卒)	書記	竹上 力 (S50年卒)
	中 雅洋 (S42年卒)		柿田清次郎 (H15年卒)
	小沢 鐵男 (S43年卒)		久保 一彦 (S40年卒)
	松本 峰男 (S44年卒)	会計	森 健太郎 (H10年卒)
	田中 育恵 (S53年卒)	監査	細井 清 (S40年卒)
幹事長	奥田 幸一 (S43年卒)		市川 豊 (S58年卒)



総合学科 池田 和輝君 3年4組



総合学科 西野 有咲君 3年1組



普通科 山田 純平君 3年7組



普通科 久行 翔也君 3年5組



普通科 澤井 祐介君 3年4組

平成26年度卒業生の5名が新たに同窓会の幹事に加わりました。

同窓会新幹事紹介

学園短信

事務局長 小笠原文六 (H11卒)

昨年7月より体育館の耐震工事を行ってまいりましたが、1月に完了しました。また、武道場と食堂も整備され、きれいになった場所を生徒たちが嬉しそうに使用しております。さらに、改修された体育館で3月1日に卒業式が挙行されます。整えられた体育館で巣立つ姿を焼き付けたいと思います。

また、12月21日に、本校陸上競技部が49年ぶりに都大路を、勇壮と駆け抜けました。今後、ますますの活躍が期待されるとともに、本校の各部活動がより活発に、そして広島で、全国で名を轟かせてくれるに違いありません。大いに期待したいと思います。

編集後記

同窓会副会長 中 雅洋 (S42卒)

同窓会報発行にあたり、太田茂校長先生をはじめとする母校のご協力や同窓会支部、卒業生の皆様のお力添えで、充実した内容となりました。

今後、皆様にも魅力ある情報を伝えていけるように努力いたしますので、何か情報のご提供がありましたら、ご遠慮なく同窓会事務局へお知らせください。よろしくお願いたします。